



しゅら



ワイ アンパンマンだ!

～アイス・クリーンアート大作戦～

「地域を元気に」「自然を利用して地域に返す」という発想で生まれたアンパンマンの巨大雪像。アトム保育園の非常口を除雪した雪で作られまました。子どもたちの笑顔とアンパンマンの笑顔がまぶしい。

【関連記事 P5】



特集

進化する市浦村の 包括ケアシステム

平成十年に県のモデル事業指定を受け、保健・医療・福祉の関係者が連携して高齢者や、障害者を支える「包括ケアシステム」をスタートさせ現在に至っています。市浦村はその「包括ケアシステム」の先進地でもあります。具体的にはどのようなことが行なわれているのでしょうか。今回取材してみました。

ケース検討会

毎週末曜日に行なわれています。参加者は医師、看護師、保健師、ケアマネージャー、ホームヘルパー、役場福祉担当者等、医療・保健・福祉部門からそれぞれ参加しています。この会議は、個々の患者や、介護サービ



ケース検討会

ケースBについて、病状の説明が岩村医師より報告された。

スの受給者、障害者などという支援が必要か話し合っており決めています。この日のケースは痴呆症状が出始めたAさんなどケアが必要か検討されました。

訪問診察・看護

医師、看護師が在宅の患者を訪問し診察します。また、看護師が定期的に訪問します。現在対象者は五、六名となっています。

訪問診察を受けた和嶋たけさんは「診療所に向かなくてもお医者さんがきてくれるので助かっています。つくづく幸せだなあと感じます」と話しています。和嶋さんは現在九十一歳で、まだ小売業を営んでいる現役です。

へア訪問

医師、看護師、保健師が通院困難な患者の家を訪問し、治療や、介護、保健指導にあたっています。

配食サービス

一人暮らしの高齢者や、障害者に弁当を届けています。利用者の負担額は一食三百円で、残りは国の補助金でまかなっています。社会福祉協議会の職員が一軒一軒回って手渡しています。

元気でら、はいおかげ様で。今日のメニューは煮魚、野菜サラダ、炒め物他



配食サービス

これはまた安否確認にも一役かっています。この日、三浦金右衛門さんは笑顔で弁当を受け取り、ご苦労さまとあいさつ。「好きなおかずばかりなので飽きることがない。楽しみです」と話していました。

共同保健医療福祉計画会議

この会議も包括ケアシステムの充実を図るために毎年開催されています。

市浦村では、昨年四月保健・医療・福祉を一体でサービスする総合保健施設「ピンコロ館」が建設されました。そのピンコロ館はどのように活用されているのでしょうか？この会議では、村民一人ひとりが主体となり、健康づくりの拠点となる「ピンコロ館」を有効に活用し、健康で安定した地域づくりをめざす

訪問診察 具合の悪いところはないですか？



デイサービスは、心休まるひとときです。



ためにはどのようにしたらよいのか話し合われました。今回は十一月十九日に行なわれた会議を紹介いたします。

各団体からの提言

市浦村長 高松 隆三

市浦村は高齢化率三十%を超えている。二人に一人は高齢者という高齢化社会を迎える。超高齢化社会を迎えた時はどうするのか？どうなるのか？考えてみてください。動きが遅い、ゆったりとした社会になるのではないのでしょうか？

「健康で長生き」をめざすには守りから攻めへの活動が必要だと思えます。



◆西北地方健康福祉子どもセンター所長

三上 芳博さん

日本は世界一の長寿国になりました。明るく元気に生き甲斐

左から坂井さん、小田桐さん



のある健康長寿を伸ばすことが大事です。市浦村は包括ケアが県内でも大変進んでいるので、今後の活躍を期待します。

◆連合婦人会代表

小山 あぐりさん

もちがつかえた時、突然心臓が苦しくなった時、どうすればよいのか？また、一日に必要なカロリー等を教えて欲しい。調理実習などもやって欲しい。

◆老人クラブ代表

坂井 精さん

北郡老人連合会ではいろいろな事業をやっています。ニギニギ体操、一日ドッグの受診、スポーツ大会、芸能祭りなどです。問題は参加できない老人をどうひっぱっていかず。

◆日赤奉仕団

市浦分団委員長

小田桐 恭一さん

この活動は、日本赤十字社の社則に基づいて行なわれています。社費の集金、社員増強運動、災害時の炊き出し、敬老会奉仕、海岸清掃、美化運動など活動は多岐にわたります。問題点としては委員の若返りを図りたいことです。

◆食生活改善推進委員

小田桐 栄子さん

約四十名で構成しています。年に七回位の講習会に参加しています。また、ダンベル体操、一品料理講習、月一回学習会の開催などの活動を行なっています。

◆子ども会育成連合会

相坂 智和子さん

ラジオ体操、ゴミ拾い、環境美化など行なっている。ピンコ口館がどのような活動をしているのかわからない、PRも必要なのではないでしょうか。

◆社会福祉協議会職員

奈良 靖子さん

悠遊郷の入所者への接遇、デイサービス事業をおこなっています。デイサービス事業では

入浴、ラジオ体操、部活動、カラオケなどのプログラムを組んでおります。通院困難者の送迎、配食サービス事業もおこなっています。

◆協元地区

竹谷 ヨシエさん

しくらんど海遊館を毎日利用している。利用者に声をかけ友だちも増えた。うつ病の方など話をしているうちに悩みを打ち明けられ、相談にのっているうちに笑顔も見られ、快方に向かった。タラソテラピーは心身共に効果が表れるのを実感しました。地元の人参加が少ないので送迎バスを利用し、しくら



参加者からも活発な意見が飛び交いました。

うらんど海遊館を活用してもらいたいと思います。

質疑応答

◎ボランティアはすぐ活動できる体制ができていますか？

◎新潟中越地震への寄付の受け付け窓口はどこか？

回答

総合保健施設長

奈良 勝義

ボランティア活動については、いろいろなボランティアグループがあるので役場総務課の方に尋ね下さい。

また、救急法は消防署で行っていますのでご利用下さい。

日赤市浦分団委員長

小田桐 恭一

寄付金の受け付け窓口は住民福祉課福祉係の日赤担当者まで届けていただくと日赤青森県支部を通して被災者へ届けられます。

講評

市浦村長 高松 隆三

医師、保健師、看護師、栄養士、関係職員が連携を取り、協議し、また利用しながらよい包括ケアシステムを進めて欲しいと思います。

取材を終えて

ケースの検討から、計画、実践と、各分野の専門職によるきめの細かいプログラムで包括ケアシステムが進められています。このシステムにより、高齢者や障害者の自立支援が成果をあげていることを知りました。市浦村はやがて来る超高齢化社会にも立ち向かうことができることでしよう。



▶左から奈良さん、小山さん、小田桐さん、相坂さん

健康づくり事業表彰

共同保健・医療・福祉計画会議で表彰された人たちをご紹介します。

国民健康保険優良家庭

●医療機関を利用しなかった期間

- 平成10年度～15年度（6年間）
- ・佐藤 アイコ（相内）



むし歯0児表彰の吉田さん（琉未奈ちゃん）



むし歯0児表彰の若山さん（朱美ちゃん）

- 平成11年度～15年度（5年間）
- ・葛西 三郎（磯松）
- 平成12年度～15年度（4年間）
- ・加福 忠厚（十三）
- 平成14年度～15年度（2年間）
- ・渡辺 文昭（相内）
- ・三和 徳廣（相内）
- ・小笠原 康仁（相内）



むし歯0児表彰の相澤さん（貴瑛ちゃん）



越野清志さん（国民健康保険優良家庭）

- ・越野 清志（桂川）
- ・丸山 永雄（太田）
- ・工藤 理一（脇元）
- ・佐藤 貞作（脇元）
- 平成15年度（1年間）
- 平成15年4月1日～
- 平成16年3月31日
- ・澤田 勝則（相内）
- ・川口 秀樹（相内）
- ・三和 みゑ（相内）
- ・田中 タケ宏（相内）
- ・古川 宏（十三）



3歳児健診むし歯ゼロ児表彰

- ・工藤 竜生 4歳
 - ・相澤 貴瑛 4歳
 - ・若山 朱美 3歳
 - ・浜田 千帆 3歳
 - ・吉田 琉未奈 3歳
 - ・保護者〃孝徳（相内）
 - ・保護者〃英知（磯松）
 - ・保護者〃武彦（十三）
 - ・保護者〃満（十三）
 - ・保護者〃純也（相内）
- ※対象は平成15年11月～平成16年8月実施の3歳児健診受診児である。



竹谷ヨシエさん（献血60回の表彰）

平成16年度 献血功労感謝状贈呈者

- ・中居 英寛（十三）
- ・山田 清作（磯松）
- ・小寺 裕子（脇元） 72回
- ・竹谷 ヨシエ（脇元） 60回
- ・中井 規江（十三） 40回
- ・安保 サツミ（相内） 24回

いっしょまで降るの!!

生活をおびやかす豪雪

平成十七年一月二十八日高松市長を本部長とし「市浦村豪雪警戒対策本部」を設置しました。県内では十番目、市浦村では、平成十二年に設置以来五年ぶりの設置となりました。村内の状況として十二月二十六日に二十センチを観測、現在は、六十センチに達したとの消防署からの報告がありました。八十センチになると豪雪対策本部の設置されます。

これまで、一人暮らしの除雪は市浦分校生によるボランティアにより行われてきました。また、排雪も行ってきました。

今後一人暮らしの除雪、高齢者の屋根の雪下ろしをしてくれるボランティアを確保する。

また、手持ちのダンブ等を使い、歩道、車道の確保をするた

め排雪を行なう。民生委員等による高齢者世帯、一人暮らし世帯の見まわりを強化していくことを確認しました。



▶会議では現在の状況、今後の方針が確認されました。



役場庁舎正面入口

これで安心!!

アトム保育園非常口(避難路)の除雪

連日の大雪に見舞われた今年、アトム保育園園庭にもたくさん



青年部8名、重機2台、飛ばす機械2台の作業

の雪が積もり、非常口の確保もままならない状態になりました。



手の届かない避難は手作業で。

そこで子どもたちの安全確保のため商工会青年部が非常口の除雪をしました。代表の成田武司さんにお話を伺いました。「最初、除雪機を使用したのが、遊具などがあるため、手作業になってしまいました。八時間にも及んでしまいました。玄関前にアンパンマンの雪像が完成した時は子どもたちの喜ぶ顔が浮かび疲れも吹き飛んだ感じです」
商工会青年部の活動というのは観光客が来る前、来た後の清掃をしていましたが、今年から福祉施設のボランティアに転向したそうです。今後もさまざまな形でボランティアを進めていきたいと意気込んでいました。

どんな活動しているの?

こんな活動しています

子育て支援センター

子育てメイトの活動の一環として親と子の料理教室が12月14日コミュニティーセンターで行われ、親子7組が参加し、子育て中の親子の親睦を深めました。

子育てメイトの小山内千津子さんが講師となり、のり巻きずし、納豆コロッケ、変わり春巻きのメニューに挑戦しました。赤、青、黄の三色を中心に巻いたのり巻きは信号をあらわしているということで、小山内さんは食べ物で信号を理解して欲しいと発案しましたと話しています。カラフルな三色のり巻き、アンパンマンのり巻きは子どもたちに大人気でした。

このように子育て支援センターではいろいろな楽しい活動をしています。

▶お問い合わせ

アトム保育園子育て支援センター ☎62-3163



信号のいまぎのでき上がり

お母さんと一緒に試食会





元気かい通信 ▶ 37 ◀

癒しの海⑤

エアロゾル (AEROSOL)

2005年がスタートしてもう2ヵ月。今年
は雪が多く雪片付けが大変ですね。

疲れたときこそ海遊館で効果的な休養を取
って見てはいかがでしょうか？

休養をとる事は、運動や栄養を摂る事と同
じくらい重要な事です。

“そこで”海遊館では、エアロゾルという
30分間のリラクゼーションを提供してい
ます。

エアロゾルとは…。

気体中に浮遊する微小な
液体または固体の粒子の事
です。海遊館では、海水を
細かい霧状にし、充満させ
た室内でお休みになってい
ただくトリートメントとし
て提供しています。



どんな効果があるの？

リラクゼーション効果

日常生活では色々なストレスが溜まり、心も身体も
緊張した状態になりがちです。そこで、ゆったりとし
た音楽を聞き、腹式呼吸で呼吸を整える事で、『ゆる
んだ』状態にし、フレッシュな心と身体を作りましょう。

去痰(きよたん)作用

去痰作用とは、鼻や喉や気管の粘膜に付着した細菌
を取り除く働きをし、風邪・鼻炎・花粉症などの症状
に効果があると言われています。喉や鼻水が気になる
方は、1度エアロゾルを利用してみてはいかがでしょうか？



際ご
は利
用の
の

- エアロゾルは入館料でご利用い
ただけます。
- プールカウンターご予約をおこ
なして下さい。
- ご案内致しますので、タオルを
お持ちになり、お待ち下さい。

ラグジュアリーキャンペーン

期間 2月 2日(水)から
3月31日(木)まで

冬こそ海遊館でのんびりリラックス

タラソテラピーの本当の良さを体験するなら、やはりこの時期であらね。

ウインターパッケージプラン *詳しくはお問合せください。

入館料と各種トリートメントがセットになった冬限定商品が登場！トライアル、ウエルネス、ビューティーと3つ
のラインナップ寒い冬は、暖かい海水に包まれてのんびり贅沢な時間を過ごしてみても？

ハーブティーヒーリングタイム *ハーブグッズも販売開始！

期間中に上記のプランか、ビューティートリートメントを受けられた方に、ハーブティーをサービスさせて頂き
ます。10種類の厳選ハーブの中からお好みをお選びいただけます。ブレンドすれば更に効果は倍増。
自分だけのお気に入りブレンドティーを見つけるのも楽しいですよ。

バスローブの無料貸し出し *お気軽にお申し込み下さい。

期間中はバスローブを無料でご利用いただけます。エアロゾルやリラクゼーションルームでのリラックスタイム
を有意義に過ごしていただく為に…。

普段は着慣れないバスローブをちょっと羽織って休んでみてください。バスローブ1つあるだけで海遊館での過
ごし方がワンランクアップ。バスローブのままレストランパタータもご利用頂けます。

冬の海遊館が本当の癒しをお届けします。

メンテナンス のお知らせ

平成17年2月22日(火)～3月1日(火)の8日間

- 施設点検の為休館を予定しております。皆様により良くご利用いただけるよう努
力してまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。



墨まみれ!?になった人もいましたが、
どうにか完成!!

風絵作り教室

平成16年12月27日・28日
コミュニティセンター

親子の門松作り教室

平成16年12月26日
コミュニティセンター

市浦村門松の会会長の吉田稔さんと門松の会会員の皆さんの指導の下、和気あいあいとした雰囲気の中、親子で協力しながら門松を作り上げていました。



親子で協力。
「息子よ!しっかり持ってこ!!」



材料は山などからとってきた
自然にあるものを活用しています。

子ども会ドッジボール大会

平成16年12月25日
B & G 体育館

古村勲市浦郵便局長からあいさつをもらった後大会を開始。市浦中のジュニアリーダーの快い協力があり成功裡に終えることができました。



優勝は青空子ども会でした!
初優勝たそうであ。おめでとう!!



投げる人・逃げる人・つかぬ人
みんな元気いっぱい楽しんでいました。

そば作り体験

平成16年12月18日
川倉ふれあいセンター

種蒔きから収穫まで体験したしゅうら未来塾の塾生。今回は、しゅうら子ども教室参加の親子も交えて総勢約五十名が参加。そば粉をねってから伸ばして切る。そして食べる!



それでは、待ちに待った試食タイムです。
多めに茹でたそばは完食されました。(´_`)



重い包丁でもなんのその!主婦パワー全開。でも、ごきあがりは太麺!?(´_`)

タラソ体験

平成17年1月12日~14日
しゅうらんど海遊館

三日間で延べ約七十名が参加したタラソ体験。冬休み期間中を利用して運動不足になるこの時期を乗りきろうと実施。中には三日間参加した強者の子どももいました。



運動プログラム実施中、プールの中でのムカデ競争は結構きつい?



さあ、これから運動不足を解消するために、バシバシ鍛えてあげるよ~!

市浦村の埋蔵文化財(25)

十三湊(下之国)安藤氏について

今回は中世の津軽・十三湊・安藤氏をテーマにした歴史のお話をします。

文治五年(一一八九)、奥州合戦によって津軽地域を統制していた奥州藤原氏が源氏の統領である源頼朝によって滅ばされる事件が起こります。その後、鎌倉時代を通じて津軽地域を含めた青森県全域が北条得宗家(北条氏の本家)の所領となっており、北条氏の従者(御内人)が地頭代(代官)として現地を支配する体制が始まりました。関東からは工藤氏や曾我氏などが津軽に入部しています。

そのなかで、地元有力豪族であった安藤氏は蝦夷支配の第一線を取り仕切る「蝦夷沙汰代官」に任命され、台頭していききました。それは建久元(一一九〇)安藤五郎が北条義時の代官として、「東夷ノ堅メ」のために津軽に置かれたとする記述から明らかとなっています(『保歴間記』)。

その後、鎌倉時代末期におきた蝦夷蜂起の影響によって、元

亨二年(一一三二)に安藤一族の内部分列や抗争が始まります。これは「津軽(安藤氏)の大乱」と呼ばれ、「蝦夷沙汰代官」職を巡って、安藤五郎太郎季久と安藤又太郎季長がそれぞれ

折曾関(深浦町)に本拠を構えて、蝦夷を動員するなど津軽地域を二分する戦いを起こしています。内真部には安藤五郎太郎季久、折曾関には安藤又太郎季長がそれぞれ拠点にしていたと見られ、安藤氏一族には五郎家と又太郎家の二大勢力が存在していたことが分かっています。

その後、津軽の大乱を制した季久は後に宗季を名乗り、季長が支配していた津軽西浜を北条得宗家から拝領したことが、元徳二年(一一三三)の「安藤宗季讓状」(『新渡戸文書』)から窺えます。これによって、安藤宗季は日本海交易による利潤を求めて、外ヶ浜から津軽西浜の十三湊に拠点を移したものと見られ、下之国安藤氏の礎を築いてい

たのです。なお、季久(のちに宗季)は、後述する『米良文書』の系図に残る安藤宗季と同一人物と見られています。

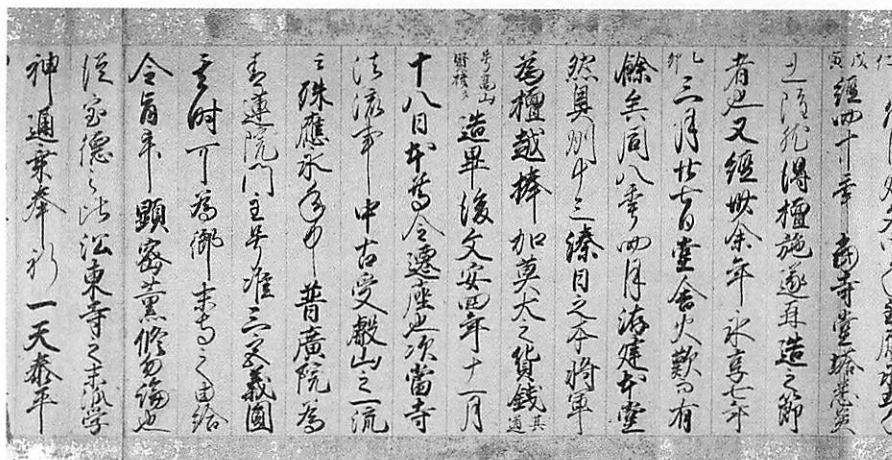
また、若狭国(福井県)小浜の羽賀寺に伝わる『羽賀寺縁起』によると、永享七年(一四三五)火事によって消失した同寺を「十三湊日之本將軍安倍泰季」が莫大な費用を献上して、永享八年(一四三六)～文安四年(一四四七)にかけて再建に尽力した記録が見えます。安藤氏の嫡流が十三湊に本拠を構え、若狭国小浜の名刹羽賀寺を再建するなど、北は北海道から南は若狭に至るまで日本海一帯を大きな活動範囲としていたことを示しています。

また、安藤氏の確かな系図を示したものに紀伊国の熊野那智大社に伝わる「陸奥国下国殿代々名法日記」(『米良文書』)があり、同社の檀那であった安藤氏の親子五代にわたる系図を書き留めたものが残されています。それによれば、安藤宗季―師季―法季―盛季―泰季と記されており、羽賀寺を再建した「安倍康季」は泰季と考えられています。やや時代が遡りますが、応永三十年(一四二三)に安藤陸奥守なる人物が、足利義量(室町將軍就任祝いに馬二十四匹・鳥

五千羽・鶯眼(銭)二万匹・海虎皮三十枚・昆布五百把など献上したとする記録があります(『後鑑』)。安藤陸奥守なる人物は時期的に見て盛季と考えられており、安藤氏の経済的基盤が北方産物の交易活動にあったことがわかります。そして、十三湊の廃絶・終末については安藤氏が南部氏との抗争の末、永享四年(一四三二)

十三湊が衰退・廃絶していった様子が明らかになっています。(文責 市浦村教育委員会 学芸員 榊原滋高)

羅之記録の二度にわたって蝦夷島(北海道)へ逃れたとする記録があります。これは近年の発掘調査の成果とも符号する結果となっており、その後急速に十三湊が衰退・廃絶していった様子が明らかになっています。



羽賀寺縁起 (福井県小浜市羽賀寺蔵)

あどる登場

愛あるみんなに出会い、
写真を撮るから「愛撮る」
会って話あから「あどる」
村民みんながアイドル。

われら見まわり隊です

見まわり隊？一体なにを見まわるの？情報提供があったのでさっそく成田新聞販売店へ取材に出かけてみました。そこには夕刊配達のために待機していた人たちがいました。そこで新聞集配所経営者の成田武司さんにかがいました。



▶左から三上華奈さん、柏谷姫佳さん、工藤矩子さん、吉田良子さん、後列三浦キエさん（さあ一緒に帰りましょう）

「子どもたちが安心して通学できるようになるのであれば、安全確認や不審者の発見、通報のために見まわってやろう」という意思から考えました。ということでは。

この日、ちょうど夕刊配布時と下校時が重なり、子どもたちは見まわり隊員にサポートされ帰宅しました。いなかといえども油断できない時世です。地域ぐるみで子どもを守ろうという体制づくりに感心させられました。しかも、新聞を配布しながらというのは一石二鳥ですね。こちらからも地域の安全のためよろしく願います。

見まわり隊員が掲げている活動内容です。

- 一、朝刊 受け持ち区を熟知し、不審者の発見や不審だと思われることを報告しましょう。
- 二、夕刊 配達時間が小・中学生の下校時間とほぼ同じなので子どもたちを見かけたら、声かけや未成年者に対する連れ去りなど地域住民の安全確認に協力しましょう。

三、交通事故には充分気をつけましょう。事故防止呼びかけ、危険地区のチェックをする。

◆見まわり隊員名簿

- ・下村地区 佐藤ナル
- ・十三道地区 三浦キエ
- ・吉野地区 吉田ミチエ
- ・桂川地区 成田忠弥
- ・橋向地区 大性一徳
- ・上浜道地区 吉田良子
- ・下浜道地区 工藤蓉子
- ・岩井地区 中村のり子
- ・派立地区 大性祐子
- ・本町地区 成田美代子
- ・脇元地区 成田節代
- ・磯松地区 伊南文子
- ・鏡開拓地区 下澤トヨコ
- ・その他地区 成田武司



▶佐藤ナルさん（毎日張り合いです）

伊南太雅くん
佳子さん(お母さん)



今日は何だかとても不安

佐藤颯人くん
静子さん(お母さん)



今日はおじと仲良しになるぞ

内藤優里華ちゃん
洋子さん(お母さん)



おじのおめんがわいいでしょ

たからっ子

国民年金 コーナー

ご存知ですか？

国民年金

今のままで、満額の年金は受け取れるかな？

保険料を納めるのが、困難な時は、役場国民年金担当窓口へご相談ください。

国民年金保険料は、納期限から二年を経過すると、その期間の保険料は時効により納められなくなります。

保険料を納めることができないのはどうしてですか？

Q・お金のやりくりがつかなくて納付できません。納付しなかったらペナルティーはありますか？

A・もちろんあります。年金額は保険料を納付した月数に応じて決定されますので、未納期間があると、将来受け取る年金額が少なくなってしまうます。平均寿命が延びた今、収入が先細りになる時期に少しでも多くの年金を受け取るために、何とかやりくりして納付してください。

Q・保険料を納めたほうがいいのはわかっているけど、そもそも年金ってどんなものですか？

か？

A・年金は労働に頼らない老後の収入源です。若い時は働けば年金以上の収入を得ることが可能なのでピンとこないと思います。年金は、実際に受けてみてその大切さがわかります。将来のためにも保険料を納付してください。

Q・保険料を納めようと思ったら、納付書が見当たりませんか？ どうしたらいいですか？

A・最寄りの社会保険事務所へご連絡ください。再発行いたします。一度に納付が困難であれば分割して納めることもできますのでご相談ください。

【国民年金標語】

▼優秀賞

助かった、かけて、よかった、国民年金

大切なあなたの暮らしを守るのはあなた自身です。頼りにないまっし国民年金

◎どうしました？国民年金保険料が未納となっているようです。ご確認ください

国民年金保険料の納め忘れがあると…



1 老後の備えの「老齢基礎年金」が受けられません。保険料を納めた期間（免除期間を含む）が最低二十五年以上ないと、せっかく保険料を納めていても老齢基礎年金が受けられません。

2 不測の事故で障害が残っても「障害基礎年金」が受けられません。保険料を納めない交通事故や病気により障害が残っても障害基礎年金が受けられません。

3 もしも、夫に先立たれても「遺族基礎年金」が受けられません。年金を受けられなくなると、必要以上に家族や周囲の人に負担をかけることになってしまいます。そうならないためには間にあいません。★国民年金保険料は納期を守って納めましょう。

消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

平成十六年中における

出動概況について

平成十六年中における救急車の総出動件数は百十八件で、搬送人員は百十六名でした。事故種別出動件数は次のとおりです。

◆出動件数

急病 七十六件

交通事故 十二件

一般負傷 八件

労働災害 一件

水難 一件

その他 二十件

◆傷病程度

死亡 六人

重症 十九人

中等症 五十九人

軽症 三十三人

◎軽症とは入院を必要としないもの。

◎中等症とは三週間以内の入院を必要とするもの。

◎重症とは三週間以上の入院を必要とするもの。

* * *

平成十六年中における火災出動はありませんでしたが、大雨や台風の影響で風水害出動が昨

年に比べ二十件増加しました。出動状況の内訳は次のとおりです。

◆風水害等 二十二件

◆救助活動 八件

※内訳は次のとおり

山岳遭難 四件

水難事故 一件

行方不明者捜索 三件

◆その他の出動 十七件

※内訳は次のとおり

野火出動 一件

蜂の巣駆除 八件

行方不明者捜索 三件

倒木除去 一件

誤報 四件

消防署からのお願い

稀に見る大雪で、除雪作業もだいぶ疲れてきましたが、消火栓、防火水槽付近へ雪を捨てるのはやめましょう。

また、雪で道路が狭くなっているので違法駐車も絶対やめましょう。



市浦村の人口と世帯数 平成17.1.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,153	1,149	410
桂川	51	54	21
太田	232	232	82
脇元	493	489	200
磯松	283	281	111
十三	775	777	268
計	2,987	2,982	1,092

住民基本台帳カードの申請交付について

現在、住民基本台帳カードは、申請から十日前後で交付できますが、三月二十八日の市町村合併によるコンピュータの新システムへの移行等を考慮し、市浦村での申請受付は三月十日（木曜日）までとなります。

尚、通常どおりの申請受付は四月からになる予定ですので、公的個人認証サービスの電子証明書を必要とする方は早めにご準備下さい。
※写真なしカードになりますので、写真付カードをご希望の方は写真を準備して下さい。

公的個人認証サービスに基づく電子証明書を取得される方

平成十六年六月一日から全国で、公的個人認証サービスの電子証明書（住民基本台帳カード）による国税電子申告・納税システム（e-tax）の利用が可能となっています。

公的個人認証サービスに基づく電子証明書は、個人における申告、申請や届出、納税などにも利用できるほか、法人代表者自身の電子証明書であれば法人の申告、申請や届出、納税などにも利用できます。

公的個人認証サービスの電子証明書（住民基本台帳カード）をお持ちの方は、自宅や事務所からインターネットで確定申告が簡単にできるe-tax（インターネット・国税電子申告・納税システム）をご利用いただけます。e-taxの詳細は、<http://www.e-tax.nagoya.go.jp>又はお近くの税務署までお問い合わせください。

2級ボイラー技士免許の資格を取るう!!

ボイラー実技講習を修了すると、国家資格である「2級ボイラー技士免許」の受験資格が得られます。

【ボイラー実技講習】

日時 三月二十八日～三十日（三日間）午前九時～午後五時まで

会場 会 場

（出）西北労働基準協会「階大ホール」（五所川原市唐笠柳字藤巻四九五―三）

◆テキスト代

二二〇〇円（内訳：ボイラー実技一〇〇〇円・ボイラー図鑑一〇〇〇円）

◆締め切り

三月二十二日か定員八十名に達し次第締め切ります。

◆持参する物 筆記用具

◆申込先

（出）西北労働基準協会
五所川原市唐笠柳字藤巻四九五―三
☎〇一七三―三五一―六三三六

※詳細についてはお母ねは、当協会へご連絡下さい。

★2級ボイラー技士免許試験案内

財団法人安全衛生技術試験協会

◆高校生 試験日 七月二十六日（火）

会 場 青森市文化会館

◆一般 試験日 九月十一日（日）

会 場 青森大学

※高校生も受験できます。

津軽広域水道企業団西北事業部 津軽広域水道企業団西北事業部は国庫補助事業継続

津軽広域水道企業団西北事業部事業再評価審議委員会（委員長・工藤明弘前大学教授）は十二日、「水道事業に係る国庫補助事業は継続」「五所川

原市への用水供給事業に係る国庫補助事業は中止」との意見をまとめ、副企業長の福島木道明長へ提出した。国庫補助事業は、社会情勢の変化を考慮し、五年ごとに「継続」「すべきが見直し」「や「中止」にすべきかを審議している。

青年国際交流事業に参加しませんか

内閣府では、平成十七年度に実施する国際交流事業（国際青年育成交流）「日本・中国青年親善交流」「日本・韓国青年親善交流」「世界青年の船」「東南アジア青年の船」の参加青年を募集しています。

▼お問い合わせ 青森県青少年・男女共同参画課 ☎〇一七三―三三―九二二四

平成十七年分から消費税が変わります!

消費税法が平成十六年四月一日から改正されました。個人事業者の場合は原則として、平成十七年分から適用となります。主な改正点は次のとおりです。

◆事業者免税点の引下げ

消費税の事業者免税点が、課税売上高二〇〇万円から一〇〇〇万円に引き下げられました。したがって、平成十七年分の基準期間である平成十五年分の課税売上高が一〇〇〇万円を超えている個人事業者の方は、平成十七年分において課税事業者となります。

なお、新たに課税事業者となる方は、「消費税課税事業者届出書」を提出する必要がありますので、届出書を未提出の方は所轄の税務署に速やかに提出してください。

◆簡易課税制度の適用上限の引下げ 簡易課税制度を適用することができるとする基準期間における課税売上高の上限が五〇〇万円（改正前二億円）に引き下げられました。

したがって、平成十七年分の基準期間である平成十五年分の課税売上高が五〇〇万円を超えている個人事業者の方は、平成十七年分については簡易課税制度を適用することができなくなりますのでご注意ください。この場合、課税仕入れ等に係る消費税額の控除を受けるためには、課税仕入れ等の事実を記録した帳簿及び課税仕入れ等の事実を証する請求書等の両方の保存が必要となります。

記帳の仕方や消費税の仕組等についてお分かりにならない点がありましたら、お気軽に最寄りの税務署までご相談ください。

▼お問い合わせ

五所川原税務署個人課税第一部門 ☎〇一七三―三三―一三五一

県内の交通事故概況

		青森県交通対策協議会	
	1月中	年累計	
発生	850件 (+77)	850件 (+77)	飲酒運転による死者 (2)
			高齢者の死者 ~65歳以上の人~ (1)
死者	5人 (-2)	5人 (-2)	自動車乗車中の死者 (4)
			非着用死者 (2)
傷者	1,102人 (+100)	1,102人 (+100)	着用していれば助かったと思われる人 (0)

※()内は前年。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。

健康への道

No.175



昨年末から最近にわたり、メディアでも取り上げられた『ノロウイルスによる感染性胃腸炎』：特に、施設入所者での発生がとて話題になりました。

では、このノロウイルスとは一体どういったものでしょうか？

話題のノロウイルスについて

ノロウイルスの特徴

ノロウイルスは、感染性胃腸炎や食中毒を引き起こす原因ウイルスで、初冬から春先にかけて多く発生する傾向があります。乳児から成人まで幅広く感染し、まれに重症化するととても危険で、高齢者や乳児等抵抗力の弱い方については十分な注意が必要になります。



感染経路

人から人に感染するもので、

- ①ウイルスを取り込んでいる食べ物（貝等）を加熱不足のまま食べて感染するもの、
- ②手に付着したウイルスが二次的に食べ物を経て感染するもの、
- ③感染した人の吐物や便等の処理が不十分で広がり、口から取り込まれて感染するものがあります。

症状

感染後一〜二日経過し、主な症状として、吐き気・嘔吐・下痢・腹痛が現れます。発熱は軽度で、一〜二日位で治癒します。

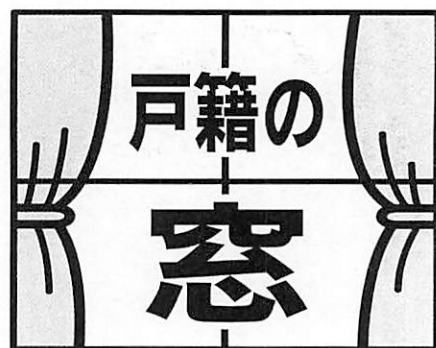
治療と予防

現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス薬はありません。脱水症状がひどい場合には点滴等の治療が行われます。

★予防で大切なことは

- ①料理や食事の前、トイレの後に石鹸でよく手を洗うことです。特に、乳幼児が感染している場合のおむつ交換や吐物の時には、手洗いと迅速な処理を心がけることが非常に大切です。
- ②また、できる限りカキ等の貝類は十分に加熱して食べましょう。
- ③そして、「罹ったかな？」と思ったら、早く受診することです。

いずれの病気も重症化は怖いものです。どうぞ、ご用心下さい。



▼お誕生

本 莊 深 陽 (十三) 彦 幸

▼ご結婚

- 小山内 雄大 (弘前)
- 本 莊 美 希 (十三)
- 成 田 継 雄 (脇 元)
- 柿 沢 奈 保 美 (神奈川)
- 三 和 覚 (相 内)
- 高 橋 里 奈 (小 泊)
- 豊 田 宜 邦 (神奈川)
- 成 田 茂 子 (脇 元)

▼おくやみ

- 岡 本 ナ ヨ (磯 松) 79 歳
- 安 保 豪 夫 (相 内) 80 歳
- 三 上 サ キ (脇 元) 90 歳
- 秋 元 マ ツ ノ (十三) 77 歳
- 村 山 恭 一 (相 内) 78 歳
- 藤 田 ぎ ん 子 (磯 松) 70 歳
- 石 岡 信 子 (脇 元) 77 歳
- 齊 藤 美 佐 保 (脇 元) 95 歳

あとながき

連日のように降り積もる雪、そしてこの地域特有の地吹雪、ドライバー泣かせのアイスバーンに津軽の冬の厳しさを痛感しました。

昨年からの台風、地震、そして豪雪など自然の脅威をこれほど感じたことはありません。

人間はどんな文明の利器を發明しても自然には打ち勝つことはできないのでしょうか。まさに自然と闘った今年の冬。闘いはいつまで続くのか？

そんな豪雪の中、自然を利用して地域に返す「アイス・クリン・アート」と称して施設の非難口の除雪をし、その雪で雪像を作り子供達に喜ばれている商工会青年ボランティアグループ。そして新聞をまわしながら子どもたちの安全を守る見まわり隊。老人世帯や一人暮らしの除雪をしていてくれる高校生ボランティアがいました。

「地域が元気になれば私たちも元気になる」と語る代表者たちの心意気、燃えるハートは雪をも溶かす勢いです。

こんなホットな話題は、最近の凶悪事件や、寒さですっかり冷え切った私のハートをほんのりと温かくしてくれました。

発想の転換で津軽の冬を楽しんでいる人たちに脱帽しました。